

— 台所のおじゃま虫を退治しよう —

ゴキブリ

ゴキブリの害

- 不潔感・不快感を与えます。
- 感染症・食中毒の原因菌などを媒介します。
- 食品や本などをかじり、被害を与えます。

ゴキブリの主な種類

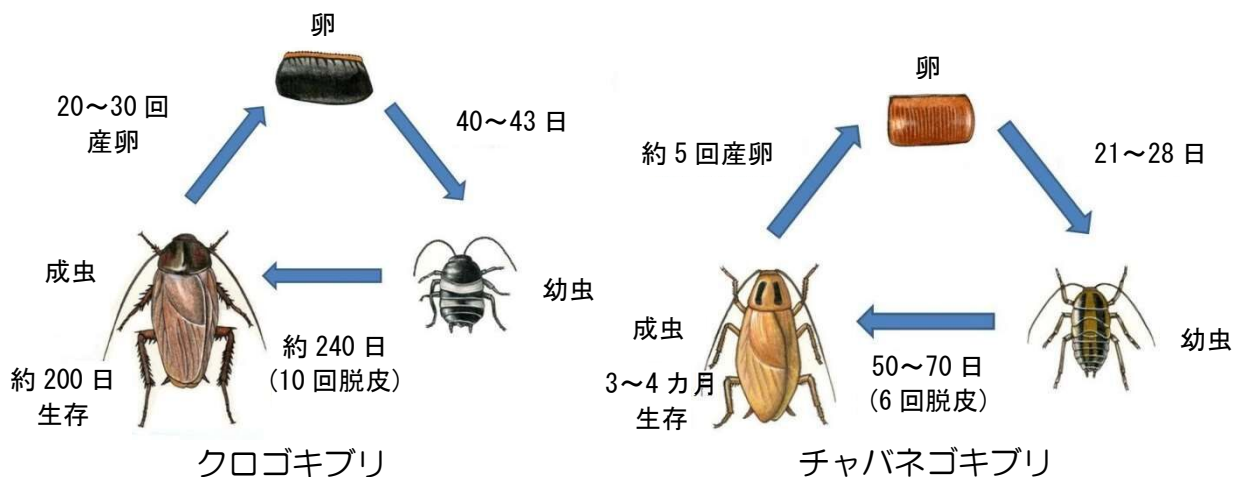
日本には、約50種類のゴキブリが生息していますが、ほとんどが屋外に生息しています。屋内性のゴキブリで人に対して、衛生上の害を与えるのは次の種類です。

	成虫	幼虫	卵しょう
クロゴキブリ 成虫の体長 30～40mm 光沢のある黒褐色 一般の木造住宅に多い。			
チャバネゴキブリ 成虫の体長 15mm 内外 黄褐色 ビル・飲食店に多い。			

その他に、日本土着性で農家や市場に多いヤマトゴキブリ、九州南部から小笠原諸島にかけて分布するワモンゴキブリ、飲食店や地下街などで生息するトビイロゴキブリなどがあります。

ゴキブリの一生

卵、幼虫、成虫の順で成長し、サナギの期間がなく、成虫と幼虫が同じ場所で生活しています。ゴキブリの一生は長く、クロゴキブリでは約1年半、チャバネゴキブリでは約6～7ヶ月です。



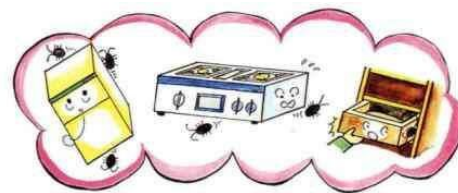
(緒方らによる 25℃での飼育実験)

ゴキブリの習性

- 食器棚のすみや壁のへりに沿って走ります。
- なんでも食べます。
- 昼間は物かげなどに隠れ、夜間に主に活動します。
- 群がってひそんでいます。

ゴキブリのひそみ場所

暖かいところ、暗いところ、エサに近いところ、湿気のあるところ、せまい隙間、ガス台や冷蔵庫の裏側、食器棚や引出しの奥、植木鉢の下などです。



ゴキブリの防除

ゴキブリの防除の基本は、ゴキブリの住みにくい環境にすることです。ゴキブリの習性を理解し、下記の方法を組み合わせると効果的な防除を行いましょう。むやみに薬剤を使用するのは控えましょう。

1 ゴキブリの住みにくい環境にする

- 食品やゴミはフタのできる容器に入れます。
- 戸棚や引出しはいつも清潔にします。
- 小さな隙間をふさぎます。

2 ゴキブリを捕獲する

ゴキブリ用粘着シートなどを使って捕獲します。ゴキブリの生息状況を確認することができます。

3 薬剤を使って駆除する

- 毒餌（ホウ酸ダンゴ）による方法
ホウ酸などの入った毒餌を、ゴキブリの通路や隠れ場所に設置し、食べさせます。
- 残留噴霧による方法
ゴキブリの通路や隠れ場所にスプレーや噴霧器を使って殺虫剤を噴霧します。
- くん煙による方法
殺虫剤の煙でゴキブリを駆除する方法です。ゴキブリのひそみ場所まで煙が届くようにして、部屋を閉め切りくん煙します。ペットや植物などは外に出しておきましょう。

薬剤を使うときの注意

- 1 使用上の注意をよく読んで用法・用量を守って使用してください。
- 2 皮膚、食品、食器、おもちゃ、ペットのえさなどにかからないようにします。誤ってかかったときは洗剤で洗うか、洗えないものは捨ててください。
- 3 薬剤を吸い込まないように注意します。また、使用後は十分換気してください。
- 4 スプレー式殺虫剤を使うときは、火気に注意してください。
- 5 薬剤は子供の手の届かない場所に保管してください。毒餌は誤食防止のため、食べ物の容器に入れて保管しないでください。

衛生害虫の相談は、保健センターへ

- | | |
|--|------------|
| ○千種保健センター 環境薬務課
(担当区：千種区、昭和区、瑞穂区、名東区) | ☎ 753-1973 |
| ○中村保健センター 環境薬務課
(担当区：西区、中村区、熱田区、中川区) | ☎ 433-3064 |
| ○中保健センター 環境薬務課
(担当区：東区、北区、中区、守山区) | ☎ 265-2256 |
| ○南保健センター 環境薬務課
(担当区：港区、南区、緑区、天白区) | ☎ 614-2862 |

※上記以外の保健センターでも来所相談を実施しますが、現地調査などは上記4保健センターに引継ぎます。